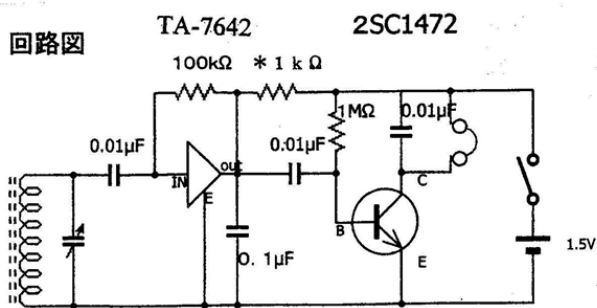


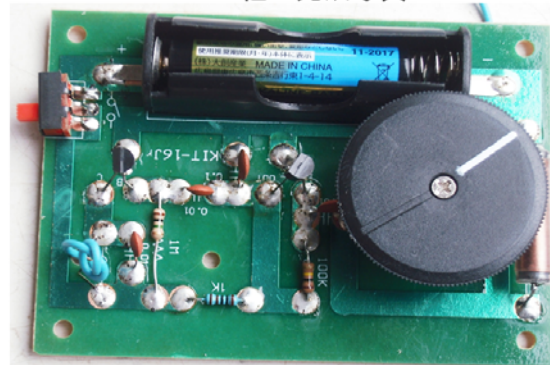
平成26年6月7日 子ども電波教室 於)北九州市児童文化科学館

6月7日(日)、北九州市児童文化科学館において、子ども電波教室が開かれました。この活動は、昨年より JARL 福岡県支部と電波適正利用推進員協議会とが連携して行われるようになり、今年もその方針を踏襲することになっています。すなわち、昨年度の支部の基本的な方針である「無線人口の裾野を広げることを目指す」ということを今年も大きな目標として実施致します。そのためにも、理科離れが著しい昨今の現実を踏まえ、小学生の頃から科学的な意識を目覚めさせて、一人でも多くの将来のアマチュア無線家を育てるという活動を続けて参ります。今回は、小学校1年生の4名をはじめ、小学校1年生から6年生まで総勢26名の参加であり、父兄の参加者を入れると教室が満杯になるほどでした。

最初に総務省電波適正利用推進員協議会が電波の基礎知識を説明する目的で作成したDVDを上映し、「電波って何？」について学習をしました。そしていよいよラジオの組立てです。回路は下図のごとく至極簡単なもので、超再生の機能を持つものです、決して感度は高いものではありませんが、事前に準備したAMのミニ放送局のお陰もあって、ほぼ全員がラジオから聞こえる音に眼を輝かせていました。



組立完成写真



今回は抵抗、コンデンサをはじめ、ICやトランジスタなどすべての部品を自分でハンダ付けします。初めて経験する半田付けにかなり戸惑った様子もありましたが、一度手本にハンダ付けをしてみせるとあとはスイスイと、これらの作業をてきぱきとこなす子どももいて、びっくりしました。いつ見ても、自分の作ったラジオが鳴ったときの子どもたちの顔は何ともいえません。

報告 JA6DJZ 渡邊 秀明



平成27年6月7日 子ども電波教室 北九州市立児童文化科学館

